○○　○○

検 印

着任式

○ 歓迎の言葉

○ 実習生挨拶

第４限

第３限

実習生

氏名

時　限

○月　　　○日　　　　○曜日　　　　天候　晴れ

オリエンテーション

○ 校長講話

○ 教育実習の目的と，今後のスケジュールについて

授業参観①　国語

「物語を読もう：大造じいさんとガン」

観察・参加・実習事項・勤務内容

始業前

第１限

第２限

第５限

第６限

○ 実習生役割分担決め

○ 指導教員からのご指導

・学級経営について，授業の見方について，子供理解について　等

放課後

その他

・昼休みに学級の子供たちと鬼ごっこをして遊ぶ

・給食準備，配膳作業

小学校の授業は，これまでは子どもの立場から受けた経験しかなかったが，教育実習初日である本日の授業参観では，初めて「教師」の立場で授業を見ることになった。すると，子供が驚いたり笑ったりと授業中に反応する裏には，教師のさまざまな働きかけがあることが分かってきた。

例えば，２時間目の授業観察①では国語の授業を参観したが，課題提示までの・・・

1.教師の働きかけについて

2.・・・

＜体裁＞

・１日１枚（両面）にまとめる。裏面（２ページ目）は，８割以上記入する。

・文字サイズは10.5pt, フォントはMS明朝とする（必要に応じて強調箇所をゴシック体とすること等は可。）

＜記入する内容＞

　本紙の記入例を参考に，次のとおり記入する。

①授業の参観を行った場合

・その日に観察・参加した授業の内容について，観点を定め（左列に番号を付して小見出しを記入）記載する。事実８割，考察２割程度の記述を心がける。

②授業の実践を行った場合

・その日に行った授業について，観点を定め（左列に番号を付して小見出しを記入）記載する。事実８割，考察２割程度の記述を心がける。

＜留意事項＞

・単に感じたことや見たことを，表面的に羅列的に記入しても後々の役には立たない。自分なりの意図をもって行った授業体験を通しての疑問点・問題点を，事実に即してできる限り根本的に考えて，記入する。

・幼児・児童・生徒に関する判断は，短絡的な決めつけは避ける。学級担任の指導や助言を十分に受けてから判断し，記入する。

「児童」「生徒」等は，次のとおり正しく使い分けること。

・幼児　又は　園児：幼稚園児

・児童：小学生

・生徒：中学生，高校生